

甲南大学FD委員会主催 FD・SD セミナー「2026年度 新任教職員ガイダンス」開催

2026年4月2日に、FD・SD セミナー「2026年度新任教職員ガイダンス」を開催しました。村嶋貴之学長をはじめ、高龍秀副学長、渡邊順司副学長、阿部真大副学長、秋宗秀俊学長補佐、松井淳学長補佐、MACH Thomas学長補佐、木成勇介学長補佐が出席されました。新任教職員の出席者は30名でした。

まずは村嶋学長より、甲南大学の人物教育に関する詳細なお話がありました。その概要は次の通りです。

“甲南大学は、人物教育率先の理念のもと、8学部・15学科・1学環・4研究科から構成されており、「ミディアムサイズの総合大学」となっている。「ミディアムサイズの総合大学」とは、中規模大学でありながら、多数の学部を有す総合大学であり、一人ひとりの学生に教職員の目が行き届く距離感の特長を生かした教育の姿を「人物教育のフレームワーク」として掲げ、学生の個性を伸ばす独自性の高い教育を実践している。

また、甲南大学では、学生が自らの可能性を広げ「個性を力に」するために、目的に応じて学びを選択できる独自の教育プログラム「彩り教育」を推進しており、各部局でその整備・充実を進めている。特に「正課外教育」の彩りとして、授業だけでは評価できない学生一人ひとりの輝く個性を応援する「KONAN サートیفিকেイト制度」を展開しており、認定者数も右肩上がり増加している。2025年度は183名を認定し、学内での認知度・参加者を拡大させている。

さらに本年度からは、「国際言語文化センター」を「グローバル教育センター」へ改組し、正規留学生のエンロールメント・マネジメントや多文化共修の推進に力を入れて社会と時代のニーズに柔軟に対応しつつ、人物教育を堅持しながら、さらなる改革を進めている状況である。”

新任教職員の自己紹介の後には、高副学長より「甲南らしさ」として、建学の理念や学園創立者 平生鈺三郎に関する歴史等のご説明があり、教職員の業務に通ずる具体的な人物教育の実践について話されました。

その後、甲南学園D&I推進委員会事務局より本学D&Iの取り組み紹介がなされました。様々な多様性や属性を認めることに加え、組織ではそれぞれの個性を活かしながら、共に働くことの重要性について周知されました。

最後に、教育学習支援センターから、学生指導に活用できる学修ポートフォリオ及び、授業改善アンケートやシラバスチェックなど甲南大学のIR・FD活動に関する説明がありました。

新任教職員の皆様、ご参加いただきありがとうございました。

